

軒天専用塗料

水性強膜形軒天専用塗料

F☆☆☆☆

ノキデック

### 特長

透湿性・耐久性・防かび・防藻性に優れています。  
作業性に優れ、仕上がり性が良好です。

用途

建築物の軒天

容量

16kg

色

軒白

大日本塗料株式会社

塗料性状<sup>※1</sup>

| 項目           | 内容        |           |     |     |
|--------------|-----------|-----------|-----|-----|
| 容姿           | 一液性       |           |     |     |
| 荷姿           | 16kg      |           |     |     |
| 色相           | 軒白        |           |     |     |
| 光沢           | つや消し      |           |     |     |
| 密度 (23℃)     | 塗料        | 1.50±0.05 |     |     |
|              | 揮発分       | 1.00      |     |     |
| 粘度 (23℃)     | 90~110KU  |           |     |     |
| 加熱残分         | 60~70%    |           |     |     |
| 乾燥時間         | 温度        | 5℃        | 20℃ | 30℃ |
|              | 指触        | 2時間       | 1時間 | 30分 |
|              | 半硬化       | 4時間       | 2時間 | 1時間 |
| 標準膜厚         | 20~30μm/回 |           |     |     |
| 引火点          | SDS参照     |           |     |     |
| 発火点          | SDS参照     |           |     |     |
| 爆発限界 (上限~下限) | SDS参照     |           |     |     |

※1上記塗料性状、塗装基準の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。

塗装基準<sup>※1</sup>

| 項目   | 内容  |                          |     |     |
|------|---|--------------------------|-----|-----|
| 下地処理 | 素材表面の油分・汚れ・埃などを除去し乾燥した清浄な面とする。pH10以下、含水率10%以下 |                          |     |     |
| 塗装方法 | 刷毛・ローラー                                       |                          |     |     |
| 希釈剤  | 水道水   |                          |     |     |
| 塗装法  | 塗装方法  | 刷毛・ローラー                  |     |     |
|      | 希釈率   | 5~10%                    |     |     |
|      | 標準使用量   | 0.12kg/m <sup>2</sup> /回 |     |     |
|      | 標準膜厚  | 20~30μm/回                |     |     |
|      | ウェット管理膜厚                                      | -                        |     |     |
| 塗装間隔 | 温度  | 5℃                       | 20℃ | 30℃ |
|      | 最小  | 6時間                      | 3時間 | 2時間 |
|      | 最大  | -                        | -   | -   |

## 関連法規

|        |   |        |       |
|--------|---|--------|-------|
| 危険物表示  | - | 有害物質表示 | SDS参照 |
| 有機溶剤区分 | - | 劇物表示   | -     |

## 標準塗装仕様《改修》

| 工程 | 商品名  | 色相   | 希釈率 (%) (重量比) | 塗装方法 | 塗り回数 (回)   | 標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回) | 塗装間隔 (20℃) |       |
|----|------|--|---------------|------|------------|------------------------------|------------|-------|
| 1  | 下地調整 | 1.ゴミ・油脂などの付着物及び浮き塗膜をスクレーラー・ワイヤブラシやサンドペーパーなどで除去し、平滑にしたのちウエスなどで清拭する。<br>2.穴埋めが必要な場合、パテ・フィラーなどを用いて行う。 |               |      |            |                              |            |       |
| 2  | 上塗り  | ノキデック  | 軒白            | 5~10 | 刷毛<br>ローラー | 2                            | 0.12       | 3時間以上 |

※下地および旧塗膜の劣化が激しい場合は、下塗りに「水性マイティーシーラーマルチ」をご使用下さい。

## 施工上の注意

- 開缶後は、よくかき混ぜて均一な状態にしてからご使用下さい。
- 保管上引火の心配はありませんが、極端な高温 (50℃以上) での保管は避けて下さい。
- 凍結により変質するおそれがありますので、低温 (0℃以下) での保管は避けて下さい。
- 屋外での貯蔵は、避けて下さい。
- 塗装終了後、刷毛などの用具は早めに洗ってください。固着した場合はラッカーシンナーで洗浄して下さい。
- 塗装場所での気温が5℃以下、湿度85%以上で結露のおそれがある場所、また換気の悪い場所での塗装は避けて下さい。
- 降雨や降雪、結露のおそれがある場合は、塗装を避けて下さい。
- エマルジョン塗料以外の塗膜面に塗装する場合は、事前に付着性を確認して下さい。
- 旧塗膜がつや有り仕上げの場合、条件によっては割れが発生するおそれがありますので、あらかじめ試し塗りなどで、確かめて下さい。
- 著しい結露が発生した場合、塗料中の水溶成分が表面に溶出する場合があります。著しい結露が予測される場合は、溶剤形塗料での塗装を推奨します。
- 油污れが著しい場合は、はがれ・割れの原因になることがありますので、中性洗剤などで十分に油分を除去してから塗装して下さい。
- 飛散防止のため養生は十分に行ってください。
- 希釈は指定された希釈剤をご使用下さい。また希釈し過ぎないようにご注意ください。
- 希釈し過ぎた場合、ダシや隠蔽不良、仕上がり不良などの原因になります。
- 塗装方法として刷毛とローラーが混在する場合は塗布量、仕上がり肌が異なり、若干の色

- 相差がですすので刷毛塗りの部分は希釈を少なめで塗装して下さい。
- 塗装後、1日以内に雨や結露などの影響を受けると白化・シミが残ることがあります。万一生じた場合は塗り重ねて下さい。
- コンクリート・モルタル面で旧塗膜の劣化が著しい場合や吸い込みの著しい面には、下塗りに「水性マイティーシーラーマルチ」を塗装して下さい。
- 藻・かびがある場合は、あらかじめ5%次亜塩素酸ソーダ水で除菌処理後、水洗いを行い、十分に乾燥させてから塗装して下さい。
- たばこのヤニやシミの多い箇所はあらかじめウエスなどで水拭きし、被塗面に十分に乾燥させてから下塗りに「水性マイティーシミ止めシーラー」を塗装して下さい。
- 20℃前後で1時間以内で乾燥しますが、塗り重ねは3時間以上おいて下さい。冬期や寒冷地ではさらに長くおく必要があります。
- 汚れや傷などで塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取っておき同一塗料、同一方法で補修塗装を行ってください。
- 塗膜性能を十分に発揮させるためにも、塗布量を守って下さい。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を生じる場合がありますので、避けて下さい。やむを得ず行う場合は、シーリング剤が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処置を行ってください。
- 繊維壁、耐火被覆用けい酸カルシウム板、ロックウールなどの非常に脆弱な素材には塗装できません。

## 使用上の注意

取扱いは下記注意事項を守って下さい。※詳細な内容は、安全データシート (SDS) をご参照下さい。

## ● 取扱い上の注意

- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。
- よくフタをし、一定の場所に貯蔵して下さい。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 捨てる時は、産業廃棄物として処分して下さい。
- 容器は垂直に持ち上げて下さい。斜めに持ち上げると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。

## ● 緊急時の処置

- 目に入った時には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 容器からこぼれた時には、砂等を散布したのち処理して下さい。

①

※本チラシ値は、製品を適正にご使用頂くための代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

※本チラシに記載以外の条件で使用される場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

※本製品の内容は予告なく変更することがあります。

※本チラシに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。

## DNT 大日本塗料株式会社

大阪営業所 ☎ 06-6266-3116 ☎ 542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 (SRビル長堀)  
 東京営業所 ☎ 03-5710-4501 ☎ 144-0052 東京都大田区蒲田5-13-23 (TOKYU REIT 蒲田ビル)  
 札幌営業所 ☎ 011-822-1661 ☎ 003-0012 札幌市白石区中央二条1-5-1  
 仙台営業所 ☎ 022-288-8866 ☎ 984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-1 (齋喜センタービル)  
 名古屋営業所 ☎ 052-332-1701 ☎ 460-0022 名古屋市中区金山1-12-14 (金山総合ビル)  
 広島営業所 ☎ 082-286-2811 ☎ 732-0802 広島市南区大州3-4-1  
 福岡営業所 ☎ 092-938-8222 ☎ 811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東3-10-5